



一般財団法人 防府消化器病センター

防府胃腸病院

防府胃腸病院 広報誌

2015年4月 第6号



【院長挨拶】

防府消化器病センター防府胃腸病院は、昨年4月より公益法人制度改革に対応して一般財団法人となり、改めて地域における医療福祉の発展充実に寄与することを明確化したといえます。

国は団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けての改革を急速に進めつつあり、昨年「地域医療介護総合確保推進法」が成立しました。

本年4月より、それを具現化するものとして、医療費の適正化を図る地域医療構想（医療法関連）と地域包括ケアシステムの構築（介護保険法関連）が始まります。

地域包括ケアシステムは医療機関と介護施設、在宅でのケアを組み合わせ、それぞれの連携と協調により、効率的に医療と介護を維持しようとするものですが、地域の特性を十分に勘案し、地域と医療機関が一体となって患者、住民を支えていくという理念が何よりも求められます。

このような医療制度変革の大きな流れに対して、私どもの財団がどのように対応し、如何に病院としての医療提供体制を維持していくか、大きな岐路に立たされているともいえます。

職員一人一人の役割として、この地域での他の医療機関、さらには多くの介護施設、介護サービス事業者などとも密接な連携をとりつつ、広く財団としての機能を果たしていく所存でございます。



一般財団法人防府消化器病センター 防府胃腸病院長 三浦 修

新 任 医 師 の ご 挨 拶

とよしま ゆきのり

豊島 幸憲 (2015年4月1日入職)



【専門】 消化器外科

【主な経歴】

2003年 修道高校卒業

2011年 日本大学医学部卒業

2011年 日大板橋病院研修医勤務

2013年 東京女子医大病院消化器外科勤務

2014年 海上保安庁船医勤務 (3ヶ月で世界一周)

【当院勤務での抱負】

今までの経験を活かし、良質な医療を提供していきたいと思っています。

ふるの わたる

古野 渉 (2015年4月1日入職)



【専門】 小児外科

【主な経歴】

2012年 九州大学医学部卒業

2012年4月-2014年3月 佐賀県医療センター 好生館

2014年4月-2015年3月 九州大学病院 小児外科

【当院勤務での抱負】

防府の医療に貢献できるように日々精進していきたいと思っています。

在宅療養部から地域連携室への名称変更のお知らせ

当院では、平成6年に病院と地域との橋渡しの役割を担うために「在宅療養部」を開設し活動してきましたが、このたび地域包括ケアシステムの構築が推進される中、地域連携と在宅医療の拡充に対応するために「**地域連携室**」に名称を変更しました。

地域での急性期一般病院の役割を果たすために、かかりつけ医の先生方との連携を密にし、患者様に良質な医療を誠実に提供していきたいと考えています。

また、患者様が住み慣れた場所でその方らしく生活できるよう、地域連携、在宅医療の充実を図っていき、皆様に選んでいただける病院となれるよう努力を続け、地域の皆様の医療・福祉・介護・生活をつないでいきます。

今後ともよろしくお願いいたします。



地域連携室 Tel (0835) 22-3339 (代表) Fax (0835) 25-8754 (直通)

担当：中村、三宅、岡屋

内視鏡を用いた最新の胃がん治療①

防府胃腸病院 外科部長 小西 晃造

胃がんの診断と治療

内視鏡機器と技術の進歩により胃がんの早期診断治療例が増加しています。内視鏡治療（ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術））は手術に比べて術後の食事の問題がありません。

しかし治療対応はリンパ節転移がない早期胃がんの一部に限られており、その適応を外れた病変に対しては手術で胃切+リンパ節の摘出が必要となります。

最新の腹腔鏡下手術

腹部手術にもハイビジョンの内視鏡（腹腔鏡）が用いられます。肉眼では見えないリンパの流れや神経線維など微細な解剖が詳細に観察できるため、精確な治療が可能です。胃がんに対する腹腔鏡下手術は比較的歴史が浅く、約 20 年前に本邦で開発されました。

当初は一部の操作を小さな開腹創から直接行う腹腔鏡補助下手術が主流でしたが、現在では全ての操作を体内で行う完全腹腔鏡下手術や、単孔式手術（一つの小さな傷で行う手術）を導入しています。

胃切除は緻密で繊細な手術が長時間続き、手術の結果が直接患者さんの術後の QOL（Quality Of Life）に直結するため、極端に言えば一つのミスも許されない完璧さが要求されます。

また、進行胃がんの手術では広範囲のリンパ節摘出を要するためより高度な技術を要します。

当院では最新の手術機器を有し、定期的なトレーニングを行いながら安全確実な胃がん治療を実践しています。

また機能温存手術として自立神経温存や単孔式手術、縮小手術も導入し、患者さん個別に対応したからだに優しい治療を行っております。

従来手術と比較して術後の疼痛や合併症が少なく、早期社会復帰が可能です。詳細はいつでもお問い合わせください。



小西 晃造

長崎県出身。九州大学医学部卒業。平成 25 年 5 月より当院外科部長に就任。

専門は内視鏡外科手術、脾・門脈外科、内視鏡手術。日本外科学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医

外 来 診 療 予 定 表

(2015年4月1日～5月31日)

	診察室	月	火	水	木	金	土
午前	1 診	三浦	三浦	小西	南園	三浦	
	2 診						
	3 診	竹尾	小西	竹尾	三浦	小西	交代制
	5 診	柿本	古野	日高	竹尾	豊島	交代制
	6 診	豊島	日高	柿本	古野	柿本	交代制
	7 診	南園	戸田	南園		戸田	
午後		戸田	交代制	戸田	戸田	南園	休診

診療日時		受付時間	診療時間
平日	午前	8:00～11:00	8:30～
	午後	13:30～16:30	14:00～
土曜日	午前	8:00～11:00	8:30～

※火曜日の午後及び土曜日の診療に関しましては、交代制となっております。

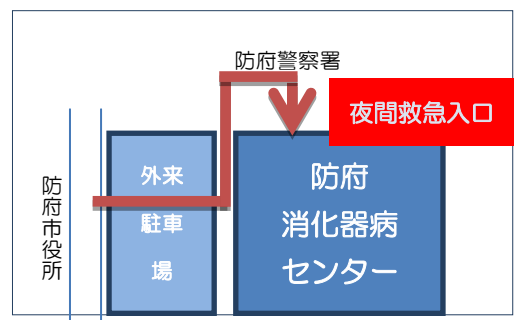
土曜日の診療予定は受付前に掲示しております。

出張等で担当医が不在の場合もございますので、受付またはお電話にてお問い合わせください。

担当医が不在の場合は代わりの医師にて診療を行います。



夜間休日救急入口



一般財団法人 防府消化器病センター 山口県防府市駅南町14-33
 TEL: 0835-22-3339 FAX: 0835-23-2040
 ホームページ <http://www.hofu-icho.or.jp>